

真・魅力通信

保こ幼小中一貫コーディネーター：奥村 崇志

主体性と自己有用感の芽生え

～袋井西幼稚園の参観を通して～

4月19日（火）、袋井あやぐも学園の推進委員が袋井西幼稚園を訪問しました。

袋井西幼稚園では、「鯉のぼりリレー」や「花びらを使った染め物づくり」など、季節に合った遊びを一人一人が工夫して行っていました。園児に質問すると、一人一人が自分の言葉で遊び方や工夫した内容などを一生懸命に伝えてくれました。

何かを伝えようとする姿勢は輝いており、**主体性**そのものが表れていました。また、聞き手が納得した様子を見て、自信に満ちた姿勢には、**自己有用感**も垣間見ることができました。



給食のときには、みんな背筋をピンと伸ばし、足を床にしっかりつけて待っていました。そして先生が牛乳を配ると「ありがとう」と自然に言う姿から、静と温の芽が確実に育っていました。

幼小中一貫によって絆と居場所がつくられ、これらが学園全体の安定につながっています。

4月の年少児は、環境に慣れず、泣き声でいっぱいだった。先生の声のしずかに対応の念で抱っこしてあげる。
仲間に入れてほしくて、誰かに話しかけたいという子に、その子の気持ちに上手に寄り添って、「お名前いっしょ」と具体的に方法を教えてあげる。
「ありがとう」を子どもたちも先生も自然に言うようになる。

・この子は泣き声でいっぱいだった。
・先生の声のしずかに対応の念で抱っこしてあげる。
・仲間に入れてほしくて、誰かに話しかけたいという子に、その子の気持ちに上手に寄り添って、「お名前いっしょ」と具体的に方法を教えてあげる。
・先生が話を聞かせるように、同じようなお話を聞いて、その子の気持ちに寄り添ってあげる。



先生が子どもたちと一緒に遊ぶ時間を大切にしたい。
・先生が子どもたちと一緒に遊ぶ時間を大切にしたい。
・先生が子どもたちと一緒に遊ぶ時間を大切にしたい。
・先生が子どもたちと一緒に遊ぶ時間を大切にしたい。

先生が一人一人に気を配りながら、会う度に声掛けをしている姿が、園児に安心感を与えていると感じました。
先生が一人一人に気を配りながら、会う度に声掛けをしている姿が、園児に安心感を与えていると感じました。



< 参観者の感想より >

- ・好きなものを選んで使う時間、自分で決め取組を協力したり、レベルアップしたりする園児の主体性を感じました。
- ・入園して数日、母子分離不安は、小1でも同様のことがおきやすいので安心できる登園、登校について考えていきたいです。
- ・子どもたちが、にこにこしながらあいさつをしてくれました。
- ・先生方が、一人一人に気を配りながら、会う度に声掛けをしている姿が、園児に安心感を与えていると感じました。

◎学園全体でも、他園校の実態を知ったり、情報共有を密に行ったりしながら、取組を「真化」させていきましょう！！

※ 袋井あやぐも学園のあゆみは、「デジタル職員室→掲示板→袋井中校区」を御覧ください。